



一般社団法人
日本介護福祉経営人材教育協会
 お問い合わせ先
 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
 ☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>
 制作：株式会社日本医療企画
 編集・発行人：林 諄
 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地 もとみやビル3階

介護福祉経営士ニュース

NEWS

2016.8/25 No.29

みんなで考えよう “介護×教育”

第1回「全国介護福祉総合フェスティバル in 大阪」内にて 「介護と子どもの教育を考える」シンポジウム開催!

多様性のある教育が重要 教科書を捨て、地域に出でよ!

7月2日〜4日に第1回「全国介護福祉総合フェスティバル in 大阪」が大阪市内で開催され、約1500人が来場した。今号では「みんなで考えよう『介護×教育』」をテーマにした2日目の様子を中心にお伝えする。

地域とのつながりを大切に
 「老いや介護」について、子どもが身近に感じること、も少なくない。この問題を真正面から取り上げたのがシンポジウム「みんなで考えよう『介護×教育』」だ。コーディネーターは長谷憲明氏（日本介護福祉経営人材教育協会関西支部理事、関西国際大学グローバル教育推進機構学長補佐）が務め、教育現場で活躍する3名が登壇した。



青木健至氏

大阪市立淀商業高校福祉ボランティア科の活動について報告したのは、大阪市教育センター主任指導主事の青木健至氏。同校は全国に1・2・3ある介護福祉士の受験資格を得られる福祉系学科の1つ福祉ボランティア科を設置している専門高校だ。同校では2025年を支える地域福祉におけるリーダー的存在育成を目的としており、最先端の専門知識や技術を身に付ける教育を行っている。授業では専門性の強化とともに、10



新崎国広氏

週間に行われる地域の介護施設での実習のほか、大学や大阪市交通局などと連携した小中学生に対する福祉教室、社会福祉協議会なども行う介護予防教室の開催など、地域の福祉・介護関係機関との連携に力を入れている。加えて、タブレット端末などICTを活用した介護技術・知識の向上や、社会企業家らによる特別授業など教科書以外で学ぶ場も用意しており、生徒たちは幅広い枠組みのなかで介護について学んでいる。

こうした取り組みについて青木氏は「福祉ボランティア科には『地域で学ぶ』という取り組みも含まれている。学校内での教育だけでは担当教師の考え方や生徒の体験による実感など、狭い範囲で福祉を捉えてしまっている。地域と連携し、そのための、地域の社会資源の活用が不可欠であり、こうしたうえで地域との連携が重要になる」と説明。介護福祉経営士をはじめとした専門職などが地域に出て

教育現場にかかわることの意味を示唆した。

大阪教育大学教養学科准教授の新崎国広氏は、「専門職に任せる」という依存意識から、福祉や介護、教育に対する無関心が生まれ、リスクを恐れず一歩を踏み出すことが大切」と述べた。

お笑いや作文を通じて
 介護の可能性を探る

シンポジウムのほか「未来をつくるkai-goカフエインOSAKA」も開催。関西を中心に介護と教育にかかわる活動を行う演者の講演を聞いた後、「こ

れからの教育にどんな視点が求められるのか」を参加者同士で議論した。

同日は、お笑い福祉士全国の会ならびに笑福亭學光氏による「お笑い介護道場」も行われた。深刻にとらえがちな「介護を笑う」と結びつけることで、介護を身近なものにしていくことを目的としたもの。介護予防体操なども織り交ぜられた軽妙な語り口に、会場は笑いの渦に包まれた。

地域との協働により 学習意欲も高まる

長谷憲明氏
 (日本介護福祉経営人材教育協会関西支部理事)



関西国際大学では、学生が地域の課題発見および解決に向けた活動を行うことで地域貢献と学修の深化を図ることを目的とした教育プログラム、サービスマーケティングを行っています。兵庫県M地区で行った「一人暮らし高齢者実態調査」においては、高齢者の生活支援サービスを始めるにはニーズを把握する必要があるとして、住民参加型サービス事業構築のための資料の作成を行いました。学生は地域のステークホルダーと協働してヒヤリングを行うことで、これまで学んだことをより深く理解するきっかけとなっています。また、地域にとっては適切なサービスを考えるための基礎資料となりました。地域づくりは住民主体でなければなしえないものですので、地域にある大学として、地域とWin-Winの関係をつくりだす学習の仕組みづくりは非常に重要と考えています。

マネジメントを現場改善の原動力に!! 介護福祉経営士1・2級資格認定試験

主催 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

11月13日(日)実施

受験申込 8月2日(火)から受付開始

	第3回「介護福祉経営士1級」	第11回「介護福祉経営士2級」
受験料	9,720円(税込)	8,000円(税込)
受験資格	「介護福祉経営士2級」資格認定者	年齢、学歴、国籍等の制約はありません
試験会場(予定)	札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・福岡	

団体受験 ◇受験者が複数名の場合、団体でまとめてお申し込みできます。
 ◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります

試験のお申し込み・お問い合わせ・資料請求はウェブで…<http://www.nkfk.jp/>

介護福祉経営士テキストのご案内

介護福祉経営士1級試験 準拠 介護福祉経営士2級試験 準拠

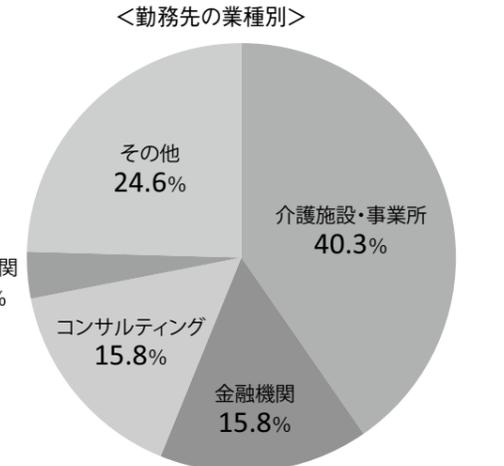
実践編 全11巻
 価格:25,710円(税込)

基礎編 全10巻
 価格:23,660円(税込)

累計受験者数2000人を突破

第10回「介護福祉経営士2級」資格認定試験に57人が合格

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会が本年7月10日(日)に実施した第10回「介護福祉経営士2級」資格認定試験の合格者が発表された。全国7会場(札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、金沢市、大阪市、福岡市)で110人が受験し、57人が合格した。合格率は51.8%だった。10回までの受験者数は合計2001人、合格者数は1142人となり、累計受験者数が2000人を突破した。合格者構成は次の通り。



<2016年度試験日程>

■2級
第11回「介護福祉経営士2級」資格認定試験
2016年11月13日(日)
第12回「介護福祉経営士2級」資格認定試験
2017年3月5日(日)
■1級
第3回「介護福祉経営士1級」資格認定試験
2016年11月13日(日)

介護福祉分野におけるマネジメント力が身につく「介護福祉経営士」資格認定試験に挑戦しよう!

第3回1級、第11回2級試験
10月6日(木)まで受験申込受付中!

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会では、11月13日(日)に実施する「介護福祉経営士2級」および「介護福祉経営士1級」資格認定試験(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会)の受験申込を受付中だ。
「介護福祉経営士2級」は年齢、学歴、国籍等の制約や、保有資格、介護職の経験の有無にかかわらず受験することができる。
また「介護福祉経営士1級」は、「介護福祉経営士2級」の資格認定を受けることが受験条件となっている。7月10日実施の第10回

受験者にも紹介者にも特典!
「介護活力創造隊員」募集中

「介護福祉経営士」の意義・役割に賛同し、受験者拡大に協力する「介護活力創造隊」の隊員を募集中だ。「介護活力創造隊員」に登録すると、隊員から紹介を受けた方が「優待特別申込書」で「介護福祉経営士2級」資格認定試験に受験を申し込んだ場合、①受験申込者は受験料が割引、②隊員には一人ご紹介いただくごとに薄謝が進呈される。
今登録すると、11月13日に実施される第11回「介護



介護経営白書 2016-2017年版

介護福祉新時代の“到来”
今、注目されるニューリーダー11人の発想と人材育成術

従来の価値観にしばられない新しい発想の介護サービスが生まれている。新しい介護の価値観をつくり出すニューリーダーに焦点をあて、これからの時代の介護経営に必須の人材について徹底検証していく。
【本書で取り上げた、介護の未来をつくるニューリーダー】
加藤忠相(株式会社あおいけあ代表取締役)、佐久間裕章(特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会代表理事)、飯田大輔(社会福祉法人福祉楽団常務理事、株式会社恋する豚研究所代表取締役)、若野達也(一般社団法人SPS 若年認知症サポートセンターさずなやゼネラルマネージャー)、幸地伸哉(西宮介護ネットワーク・街づくりプロジェクト代表、株式会社グローバルワーク代表取締役)、中島康晴(特定非営利活動法人地域の絆代表理事)、鹿野佑介(株式会社ウェルモ代表取締役CEO)、内藤勇一(社会福祉法人来光会理事兼業務統括施設長、介護老人福祉施設しるやま施設長)、水戸康智(株式会社MOE ホールディングス代表取締役社長兼CEO)、吉江悟(訪問看護ステーションコンピュータソルブ柏、看護師、保健師)、紅谷浩之(オレンジホームケアクリニック代表)

合格者の声

利用者、経営者、職員の橋渡しができる
介護福祉経営士になりたい

「介護福祉経営士2級」はこれまで、計10回の資格認定試験で、累計1142名の合格者が誕生しました。介護施設・事業所、企業などから多くの方が受験し、合格しています。どのような目的で受験し、どのように「介護福祉経営士」の資格を業務に活かそうと考えているのか、合格者の皆様にお話を伺いました。

専業主婦から一念発起
介護の世界へ

私がヘルパーとしてせんねん村に入職して6年が経ちました。もともと専業主婦をしていたのですが下の子どもが幼稚園に入るときに私も福祉コースのある短大に入學しました。きっかけは長い人生の中で病気や老いは避けられないと育児をしながら感じたのです。そこで一念発起して短大に入學。18歳の子たちと机を並べ、在学中に介護福祉士の資格を取得し、福祉の世界に入りました。



さかべ としこ
阪部 寿子
社会福祉法人せんねん村
ヘルパーステーションせんねん村
介護福祉士・社会福祉士・ケアマネジャー・
介護福祉経営士2級

ながら暮らす様子はとても苦しいです。そんな生活ではケアしている娘に大きな負担が強いられ、ストレスのはけ口としてか母親に暴言を浴びせていることもありました。私は娘のガス抜きも考え、じっくりと向き合い話をすること、そして他のヘルパーやケアマネジャーさんと連絡を取り見守りました。現在母親は亡くなりましたが娘さんとは近所で顔を合わせたことがありません。涙を流して当時の仕事について感謝の言葉をいいただき、そのときに介護の仕事を生業としていく覚悟ができたような気がします。

ツールを活用した活動もしています。当法人と医療法人である仁医会でマッピング作業をするマップと呼ばれるメンバーが20人おり、そのうちの一人として活動しています。6時間の検証作業を行いどのようなケアを利用者さんは受けているかの行動確認をしています。マップとして活動することにより、客観的な視点が鍛えられ自身の勉強にもなっています。

現在ヘルパーとして活動していますが、今後は特養への異動を希望しています。訪問介護はもちろん大事ですが、特養をせっかく持っている法人なので365日24時間利用者と向き合える経験も大事だと考えています。どの家庭にも家族がいるとは限りません。施設の重要性を知ったうえで訪問、施設と両方の視点から利用者、職員の生の声を現場で聞いていきたいと考えています。

まだ取得して1年もたっていないので介護福祉経営士を活かしていきたくありません。当法人には経営コンサルタントが入っており、私もオペレーター

として会議などに出席しています。そうした会議の席では課題が多く提示され、課題の優先順位を考え解決していくことが大事だと思いましたが、課題はどれも出ても出てきます。解決していく役割を担える経営士になりたいと考えています。

第1回 「介護福祉のみらい」
作文コンクール
最優秀賞作品掲載

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う小学生、中学生、高校生に、介護福祉の大切さを知り、未来について考える機会をもってもらうことを目的に、第1回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施しました。本号から高校生の部で最優秀賞を受賞した作品を掲載します。

介護福祉の未来

群馬県立伊勢崎興陽高等学校 福祉と人間を学ぶ系列 3年 大橋咲和

日本は今、超高齢化社会を迎えています。私は、これからも少しずつ高齢者が増えていく社会で、みんなが幸せに暮らせるためには何が出来るだろう、と考えました。

一番最初に思い浮かんだのは、介護施設を増やすことでした。そこで働く人を集めることは大変だけれど、たくさんいる要介護者を施設で介護できて良いのではないかと考えました。私は高校で福祉系列に所属していて、毎週水曜日に施設へ実習に行っています。特別養護老人ホームなのでほとんどの方が車いすです、自分のことを自分でできない人が多くいます。何をすることも自分ですべてできない人が多くいる。何をすることも自分ですべてできない人が多くいる。何をすることも自分ですべてできない人が多くいる。

次に思ったのは、今のうちから高齢者への関心を深めていくことが大切なのではないかということです。今の日本人は、高齢者についての知識が少ないと思うので、学生のうちから地域の人と関わったり、介護施設に行ってみるなどして、実際に高齢者とふれあう時間を作ることが重要だと考えました。そうすることで、ただ話を聞くだけでなく認知症などの病気の理解につながったり、人生の先輩として様々なことを教えていただけるかもしれません。私は自分が住んでいる家の近くの人の関わりがほとんどありません。どういいう人がどのような暮らしをしているのか全くわからないので、あえて地域との関わりを持つことにより高齢者だけでなく多くの人とコミュニケーションがとれるのではないかと考えました。

みんなが幸せに暮らせるためには、介護をする側の意見だけを尊重した施設を増やすのではなく、多くの人が若い頃から高齢者の方との関わりを重視した生活をしていくことが大切だと考えました。地域で支え合っていくことにより高齢者にとって頼れる場ができるのではないかと考えます。若い人たちがともも人と人をつなぐ立場になって、地域全体、みんなが幸せで自由だと思いがら暮らし、ける社会ができると思います。超高齢化社会はこれから進んでいくので、私たちにできることを一つひとつ考えていきたいと思います。

介護サービス事業のリーダー層、研修担当者、
初任者研修・実務者研修・介護福祉士等の教員向け
「介護福祉教育エキスパート」養成講座

「介護の本質」、「介護専門職としての職業観」、「介護における教育者像」を、介護福祉教育の基本とらえ、この3テーマについて、ただ講義を聞くだけでなく、読み(事前学習)、聞き(講義)、話し合い(グループワーク)、まとめる(レポート作成)ことで、介護福祉教育の本質を学びます。

開催地	日程	時間	講師
福岡③	1日目 9月9日(金)	13:30~17:30	久保田トミ子(広島国際大学副学長、合同会社和の会代表)
	2日目 9月10日(土)	9:00~17:30	
東京⑥	1日目 9月10日(土)	13:30~17:30	白井 孝子(東京福祉専門学校副校長)
	2日目 9月11日(日)	9:00~17:30	瀬戸 恒彦(公益社団法人かながわ福祉サービス振興会理事長)
札幌①	1日目 10月22日(土)	13:30~17:30	黒澤 貞夫(日本生活支援学会会長)
	2日目 10月23日(日)	9:00~17:30	
大阪②	1日目 11月7日(月)	13:30~17:30	黒澤 貞夫(日本生活支援学会会長)
	2日目 11月8日(火)	9:00~17:30	

主催:一般社団法人介護福祉指導教育推進機構 お問い合わせ・資料請求はウェブへhttp://kaigo-education.jp

経営の一翼を担う栄養管理のエキスパート

栄養経営士
テキストシリーズ(全6巻)

管理栄養士のための新資格「栄養経営士」
養成テキストシリーズ創刊!

第1巻 病棟業務管理 不要な絶食患者ゼロをめざす病棟業務マネジメント —栄養部門が経営の一翼を担う—	真壁 昇 (関西電力病院疾患栄養治療センター)
第2巻 コスト管理 ビジョンの実現に向けたコストマネジメント —業務の選択と集中で患者満足度を高める—	大谷 幸子 (淀川キリスト教病院栄養管理課課長)
第3巻 組織マネジメント 栄養部門の存在意義を高めるリーダーシップ —専門職としての使命を全うできる環境づくり—	宮澤 靖 (近森病院臨床栄養部部長)
第4巻 人材教育マネジメント 自ら考え行動する人材の育成と目標管理 —鉄は熱いうちに打たなければならない—	山下 茂子 (熊本県立大学環境共生学部非常勤講師)
第5巻 多職種協働コミュニケーション チーム医療を成功させるコミュニケーション —人と組織、そして地域をつなぐ連携の要—	秋山 和宏 (東葛クリニック病院副院長)
第6巻 病態栄養 臨床スキルアップのための病態把握と栄養ケア —病態の理解なくしてチーム医療に参画はできない—	吉田 貞夫 (沖縄メディカル病院あがりはまクリニック院長)

■体裁:各巻B5判/100~160項 ■定価:各巻2,500円+税
■総監修/宮澤 靖(一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事/近森病院臨床栄養部部長)
発行:株式会社日本医療企画 お申し込み、お問い合わせはウェブへhttp://www.jmp.co.jp/

支部 NEWS & TOPICS

関東支部

「介護経営の未来図」を描く初の研究会開催

関東支部は、6月17日（金）、日本医療企画もとみやセミナールームにて第1回未来志向型介護経営研究会を開催した。同研究会は、介護福祉や医療など社会保険全般に関する最新情報の共有、重要テーマに関する研究を行うことで、「介護経営の未来図（経営ビジョン）」を描いていくことを目的としている。

記念すべき第1回は、遠藤正樹氏（医療法人康明会常務理事・人本部長・一般社団法人南多摩医療圏病院管理研究会会長）を講師に招き、「診療報酬改定が介護現場に与える影響と経営戦略」について開催。同氏は、変化への対応に弱い病院や一部介護事業者の経営陣は、いま最悪の事態を想定し、戦略行動を起こすこと等、熱く語った。

受講者からは「2016年度診療報酬改定の影響や今後に向けた取り組みについて具体的な話を伺うことができた」「経験に基づいて見

通し、分析、予測が聞けた等の声が上がった。



基礎から学ぶ「経営計画・事業計画」のつくり方

関東支部は、7月30日（土）、日本医療企画セミナールームにて、第3回介護経営実践講座「介護事業者のための『経営計画・事業計画』のつくり方」を開催した。講師は独立行政法人福祉医療機構コンサルティンクグループの中野佑一氏。

講座は、経営計画を立てる上で本質的課題を見極める重要性や、「経営」とは何かという基礎的な講義から始まり、計画策定にあたってのフレームワーク・ビジョン・策定の手順まで講演を行った。同氏は、すべての役員が法人の理念・ビジョンの表現に向けて同じ方向を向き、一丸となれるような経営計画・事業計画の策定に取り組んでほしいと締め括った。



九州支部

組織活性化の秘訣は人間関係にあり

九州支部は7月30日（土）、「組織の活性化に役立つコミュニケーション術」をテーマに、介護福祉経営研究会LINKを開催した。

講師の石松衣美氏（2級キャリアコンサルタント）は「コミュニケーションとは自分と相手の違いを認め合うこと。人にはこれまでの体験に基づく考え方の癖があることを念頭に置いてほしい」と最初に強調。次に思い込みが怒りや不満につながることを、事例を通して説明した。

また、参加者に管理職が多く、部下の指導に悩んでいることから、指導のポイントに①部下と向き合う空間と時間をもつ、②部下の話を尊重する、③良い悪いで評価しない、④自分が感じていることを誠実に話すの4つを挙げ、「相手があるままにいられる場をつくるのが重要」と助言。



セミナー報告 協賛：日本介護福祉経営人材教育協会 関東支部

黒澤貞夫氏が語る!!

介護福祉分野の教育者、リーダー層を対象に、介護職が「喜び」の仕事への誇りをテーマにした研究会が、日本医療企画もとみやセミナールーム（東京都千代田区）で7月28日（木）に開催された。

登壇したのは黒澤貞夫氏（一般社団法人介護福祉指導教育推進機構代表理事）。黒澤氏は、介護の魅力や伝えるためには、介護の専門性を自身が獲得することが重要であると語り、介護職は、人の生死といった人



介護職の本当の喜び

間の根源的な問題を正面から問いかける職業で、一生をかけるに値する職業であるということを力説した。

参加者からは、「介護職ならではの魅力を再認識した」「部下に同じ話を聞かせたい」といった声が上がっており、今後も続く研究会への期待が寄せられた。

セミナー案内

北海道支部 「介護福祉経営士1級」対策講座

2016年11月13日（日）に行われる第3回「介護福祉経営士1級」資格認定試験に向けて、北海道支部にて全国初の勉強会を開催。

日時：2016年6月24日（金）、7月22日（金）、8月26日（金）、9月23日（金）、10月28日（金）

全5回 18:30～20:00

講師：神内秀之氏（社会福祉法人深仁会法人本部事業推進部次長・事業戦略担当次長・深仁会ハーティケアセンターセンター長。介護福祉経営士1級）

会場：株式会社日本医療企画 北海道支社セミナー

会場（北海道札幌市中央区南一条西6丁目15-1 札幌あおばビル201）

資料代：全5回2500円 / 各回500円（介護福祉経営士）、全5回5000円 / 各回1000円（一般）

お申込み：協会ホームページ内「セミナー・研究会活動」または左記お問い合わせ先まで。

お問い合わせ先：日本介護福祉経営人材教育協会 北海道支部（株式会社日本医療企画 北海道支社内）

電話 011-2223-5125

第11回「介護福祉経営士2級」資格認定試験 直前ポイント整理講座 大阪会場

11月13日（日）に実施する第11回「介護福祉経営士2級」資格認定試験に向けて試験対策講座。医療機関の現場や診療報酬制度等、しくみのわかる社会保険労務士として医療・福祉業界を中心に活動する鷹取敏明氏を講師に迎え、多岐にわたる試験範囲をわかりやすく解説する。

日時：2016年10月1日（土）13:30～17:20

講師：鷹取敏明氏（人事マネジメント研究所 進創アシスト代表）

会場：梅田貸会議室 ティーオーシー（大阪府大

大阪市北区梅田1-1-3 1700）

受講料（税込）：1万2000円

定員：20名（先着順）

※定員になり次第、締切。また、申込人数が基準に達しない場合中止することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

お申込み：日本医療企画「セミナー情報」または左記お問い合わせ先まで。

お問い合わせ先：株式会社日本医療企画 関西支社 受験対策講座事務局

電話 06-7660-1761

人・モノ・カネ・情報を網羅した介護経営月刊誌

最新介護経営 わかる・使える・明日が見える

介護ビジョン CARE VISION

2016年9月号 (2016年8月20日発売)

詳しくは [介護ビジョン](#) 検索

●毎月20日発行

●定価：1,296円（税込）

●定期購読料：15,552円（税込）



特集

今、改めて問い直す 非常事態の介護事業所のあり方

東日本大震災や熊本地震、さらには障害者福祉施設での入居者大量殺傷事件の発生など、介護事業所では非常事態のあり方を見直す時期にあるのではないのでしょうか。本特集では、経営者として事業所を守るために必要な知識・情報、実践事例を例示します。

ときの人

石本 淳也氏

公益社団法人日本介護福祉士会会長
一般社団法人熊本県介護福祉士会会長